

# 題：新聞や雑誌とインターネットの関係

名前：

私は、インターネットが自由に使えるようになつた今も、新聞や雑誌は必要であると考ええる。以下に理由を述べる。

第一に、新聞・雑誌と異なり、インターネットがパソコン等の機械が必要である点がある。あるいは、インターネットを使うには通信設備が必要であり、電波や回線が届かない場合、<sup>壊れて</sup>~~壊れて~~<sup>いる</sup>~~壊れて~~場合、金銭的に高価である故に設備を整えられない場合に<sup>は存在</sup>使用できない。これに対して紙媒体である新聞や雑誌は、流通が整っている地域であれば、店で手軽に手に入られる。したがって、インターネットがあるからといって新聞・雑誌は不要とならない。

第二に、インターネットは、自らが主体的にコンテンツに接触するのに対し、新聞や雑誌は受動的なメディアである点がある。新聞や特に雑誌についていえることであるが、店頭と並べて消費者の購買意欲を高めるような工夫をして、情報の発信側が積極的なはたし

きかけを行っている。それに対して、インターネットは、情報を得ようとする側が、検索エンジン等を使って必要な情報を主体的に取得していくものである。こうした点から、新聞や雑誌は、企業がある価値感を提案して消費者のニーズを生み出すという役割があり、インターネットによって不要となるものでない~~ことばかりである~~。

第三に、インターネットは主に画面によって情報を流すものである点がある。紙媒体である新聞や雑誌と違い、長時間、多大な文章を読ませることには画面は不向きであり、見比べたりめくったり書き込んだりすることも難しい又は不可能である。故に、インターネットにはない便利さが新聞、雑誌にはある。

このように、新聞や雑誌にはインターネットにはない特徴があるのであるから、インターネットが自由に使える今となつても、新聞や雑誌は必要であると考ええる。

以上 1800字